



地域研究集会

第46回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウム 「相模湾の環境と水産資源を市民・漁業者と共に守る」

日 時：2025年11月14日（金）9:30～12:50

場 所：小田原市荻窪300番地 小田原市生涯学習センターホール（対面形式）

共 催：（公財）相模湾水産振興事業団，小田原市

コンビナー：松山優治（海洋大）・武井 正（（公財）相模湾水産振興事業団）・
石黒雄一（神奈川水技セ）

問合せ先：zaisagami@samba.ocn.ne.jp

1. 挨拶： 伊藤進一（一般社団法人水産海洋学会会長） 9:30～9:45
加藤憲一（小田原市長）
武井 正（（公財）相模湾水産振興事業団理事長）
2. 話題提供
 - 基調講演 座長 石黒雄一（神奈川水技セ）
海洋プラスチックごみ問題と廃棄漁具のリサイクルについて
東海 正（海洋大・日本水産学会会長） 9:50～10:50
 - 話題 座長 田島良博（神奈川水技セ相模湾）
 - ①相模湾のゴミの現状と私たちが出来ること
柱本健司（（公財）かながわ海岸美化財団） 10:50～11:20
 - ②市民と共に取り組む相模川・酒匂川における環境 DNA モニタリング
長谷部勇太（神奈川県環境科学センター） 11:20～11:50
 - ③下水処理水の海域への広がりについて
石川泰助・山田洋介（いであ（株））・松山優治（海洋大）
11:50～12:20
3. 総合討論
司会：松山優治（海洋大） 12:20～12:50

開催趣旨：海洋は人類に快適な環境と豊かな資源を与え続けてきた。ところが、近年、人間活動に伴って海洋において温暖化の進行，生物多様性の喪失，生態系の破壊などが顕在化し，国際連携で調査研究や対策が実施されてきている。一方，これらの問題に地域・市民レベルで調査し，対策に取り組む活動も進められている。今回のシンポジウムでは基調講演として海洋ごみ問題の現状と対策について講演をお願いする。話題提供では，市民参加で取り組む相模湾沿岸の海岸ごみ除去への取り組みと，神奈川県内の河川・水域で行われている環境 DNA モニタリングによる生物多様性についての調査報告，最後に下水処理水の海域への拡散の調査と見積もり方法について紹介していただく。講演と総合討論を通して相模湾の環境保全と水産振興について，漁業者・市民を含めて幅広い参加者により議論する。